

事業番号	126
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	高齢者世話付住宅援助員派遣事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	長寿介護課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	長寿福祉係							
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		13 高齢者福祉		2 高齢者の地域での生活を支援する									
		副目的														
	予算区分	款	3		項	2		目	1		大	3		中	7	
	根拠法令・個別計画	小牧市高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業運営要綱														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	3 %		委託	97 %		助成	0 %							
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	高齢者が自立して安全で快適な生活を営むことができるよう、在宅生活の支援を図る。														
	内容 (手段)	<p>高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)の入居者に対し生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供し、在宅生活を支援する。 事業は、(福)小牧市社会福祉協議会へ委託する。</p> <p>事務事業:新規入居者に対する事務、現況調査及び手数料算定事務、手数料の収納事務、生活援助員との連絡調整、委託料の支払事務</p> <p>【直接経費の主な内訳】 生活援助員派遣委託料 9,188千円</p>														
受益者負担	小牧市使用料及び手数料条例に基づき、上記のサービスに対する負担として、1月につき4,900円以内で所得税額に応じ市長が定める額を請求する。															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	8,973	8,780	9,188	10,182	
		正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
			人件費	千円	265	265	265	265
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	9,238	9,045	9,453	10,447	
	対前年比	%		97.9	104.5	110.5		
財源	一般財源	千円	9,034	8,932	9,257	10,290		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	204	113	196	157		

業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24	
	派遣世帯数		世帯	目標	54	54	54	54
			実績		52	49	52	
				目標				
			実績					
				目標				
実績								
績	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24	
	派遣日数		日	目標	243	243	243	243
			実績		243	243	248	
				目標				
			実績					

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)の入居者に対し生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供し、在宅生活の支援が図られている。 派遣世帯、派遣日数共に全世帯に派遣達成できた。				
		事業実施における課題等	現在社会福祉協議会に委託をしているが、社会福祉協議会の正規職員が訪問専門担当をしており、その担当が継続するため、年々委託料(人件費)があがっている。 安否確認のための各種センサーが誤報するケースがある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)の入居者に対して、きめ細かい生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスが提供できない。				
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持					
	判定理由	今後の高齢社会において、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活することを支援する必要があるため。					
	改善案等	安否確認のための各種センサーが誤報するケースがあるので、生活援助員に対して水センサー等の各種センサーの仕組みについて知識の向上を図る。					

二次評価	方向性の判定	判定理由					
	現状維持	一次評価のとおり。					